

APRC-FY2024-PD-TWN01

海外の政策文書

原文：國家科學及技術委員會 114 年度施政計畫（中華民國行政院國家科學及技術委員會） 2025 年 4 月

URL：<https://www.nstc.gov.tw/folksonomy/list/53622319-97c0-42d2-b10b-9fd8e4f87cda?l=ch>

【中華民国（台湾）】

国家科学及技術委員會 114 年度（2025 年度）施政計畫
（Tentative translation）

【仮訳・編集】

国立研究開発法人科学技術振興機構
アジア・太平洋総合研究センター

【ご利用にあたって】

本文書は、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）アジア・太平洋総合研究センター（Asia and Pacific Research Center；APRC）が、調査研究に用いるためアジア・太平洋地域の政策文書等について仮訳したものととなります。APRC の目的である日本とアジア・太平洋地域との間での科学技術協力を支える基盤構築として、政策立案者、関連研究者、およびアジア・太平洋地域との連携にご関心の高い方々等へ広くご活用いただくため、公開するものです。

【免責事項について】

本文書には仮訳の部分を含んでおり、記載される情報に関しては万全を期しておりますが、その内容の真実性、正確性、信用性、有用性を保証するものではありません。予めご了承下さい。

また、本文書を利用したこと起因または関連して生じた一切の損害（間接的であるか直接的であるかを問いません。）について責任を負いません。

APRC では、アジア・太平洋地域における科学技術イノベーション政策、研究開発動向、および関連する経済・社会状況についての調査・分析をまとめた調査報告書等を APRC ホームページおよびポータルサイトにおいて公表しておりますので、詳細は下記ホームページをご覧ください。

（APRC ホームページ） <https://www.jst.go.jp/aprc/index.html>

（調査報告書） <https://spap.jst.go.jp/investigation/report.html>



本資料に関するお問い合わせ先：

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）アジア・太平洋総合研究センター（APRC）

Asia and Pacific Research Center, Japan Science and Technology Agency

〒102-8666 東京都千代田区四番町 5-3 サイエンスプラザ

Tel: 03-5214-7556 E-Mail: aprc@jst.go.jp

<https://www.jst.go.jp/aprc/>

世界は急激な気候変動、不均衡な人口構造、変化する地政学などの様々な課題に直面している。台湾が保有する天然資源は有限であり、テクノロジーの無限の潜在力によって、国内外からの変化への要望に積極的に応えるとともに、課題をチャンスへと変え、台湾をスマートテクノロジーアイランドとするべきである。

国家科学及技術委員会はテクノロジー政策の計画、基礎研究の支援、イノベーションや起業の推進、サイエンスパークの整備を使命とし、国家レベルの高度かつ先見的な視点から、行動と革新の精神によりテクノロジー発展の青写真を描いている。部会（省庁）の枠を越えて学術研究界と提携し、川上から川下までの産業を連携させる。基礎研究を安定させることにより、研究開発のリソースを蓄積させる。イノベーションと起業のエコシステムを構築し、人間社会の価値観に富んだテクノロジーによって福祉を充実させる。このほか、国内のテクノロジーに関する予算を統括的に管理し、革新的なブレイクスルーとその恩恵の共有のため、広範かつ前向きに科学研究リソースを配分する。社会のニーズを洞察した、多様性を持ち枠にとらわれない人材の育成に注力し、国際交流を深化させ、産学共同を拡大させて研究開発成果の実用を加速させる。またテクノロジー領域と人文領域の対話を奨励し、社会のニーズを観察し、それに応えて生活の質を高め、健康的で豊かな生活を後押しする。さらに特色ある集落を形成するための産業転換を支援し、サイエンスパークにネットゼロや低炭素への持続的な思考を導入し、コミュニティとサイエンスパークをバランス良く発展させる。半導体生産における台湾の優位性を生かし、世界的な AI 開発の波を活用して将来性のある重要なテクノロジーを発展させ、台湾を 2035 年までに将来性と革新性を備えた民主的かつ包摂的で、強靱で持続的なテクノロジーのビジョンへ導く。

本会は行政院の 114（2025）年度施政方針に基づき承認された予算額に沿って、経済・社会情勢の変化および本会の将来的なニーズに対応するため、114 年度の施政計画を編成する。

Ⅰ．年度施政目標および戦略

一、テクノロジーガバナンスの高度化と分野横断的な統合配置を推進し、2 つの軸の転換によってスマートテクノロジーアイランドの構築を促進する

（1）世界におけるテクノロジーの趨勢を把握し、国家のテクノロジー政策を策定し、テクノロジーガバナンスを深化させる

1. 第 12 回全国科学技術会議の結論を基礎とし、政府の重要政策と連携させた「国家科学技術発展計画（2025～2028 年）」を策定し、関連する省庁によるテクノロジー政策の立案や研究開発推進の根拠とする。
2. テクノロジー計画のガバナンスを推進し、省庁間の連携と協力を通じて共通認識を形成するとともに、スマート補助ツールを導入することで、テクノロジーの専門審査およびライフサイクルの管理を継続的に実施する。テクノロジー予算を適切に配分し、川上から川下に至る省庁の枠を越えたリソースの統合や、実行成果の審査を強化することで、テクノロジー予算の総合的な効果を最大限発揮させる。
3. 行政院の科学技術顧問会議を開催して国内外の科学技術専門家を招き、国内のニーズおよび様々な課題を検討し、先見的な視点と国際的な論点を踏まえ、我が国の今後 10～20 年における科学技術の発展に関する戦略的な提言を行う。

（2）先端分野に焦点を当て、ネットゼロおよびデジタルトランスフォーメーション（DX）を着実に推進し、スマートテクノロジーアイランドを構築する

1. チップ駆動による台湾産業イノベーションプランへの継続的な投入を通じて、我が国の半導体産業における

優位性を AI と結び付け、各種産業のイノベーションを牽引し、IC チップの設計や設備、材料、化学品などにおける川上から川下までのサプライチェーンを拡大する。併せて、人材の育成、定着、誘致を行いつつ、国内の半導体研究学院のリソースを拡充し、IC 設計産業の人材を台湾に留め、台湾のスマートテクノロジーアイランド化を着実に進める。

2. 国家の 2050 ネットゼロ政策に合わせ、「持続可能かつ先端的なエネルギー源」、「低炭素(または炭素削減)」、「ネガティブエミッション」、「循環」、「人文社会科学」の 5 つのネットゼロテクノロジー分野を整備し、先見的なネットゼロテクノロジーの発展を後押しする。地熱、水素エネルギー、バイオマスエネルギー、海洋エネルギーなどの再生エネルギーの発展を加速させ、国際協力を強化して我が国の未来のネットゼロテクノロジー人材を育成し、各省庁が横断的協力を行い、社会、産業、生活、エネルギー源の 4 分野におけるシステムの転換を図る。
3. AI 行動計画 2.0 の全体的な枠組みの下、台湾 AI 卓越研究センター (Taiwan AI CoE) を推進する。基礎科学研究、人材、ガバナンスの 3 つの戦略目標に基づき、我が国が優位性を持つ AI のコア・コンピタンスに焦点を当てる。学術研究チームに対して継続的に支援を行い、AI 卓越研究のリソースを拡充し、分野横断的な人材を育成する。さらに、Taiwan AI CoE を通じて、国家レベルで高い集中力をもって取り組み、重要な国々との協力を進めることで、我が国の AI における優位性を形成し、国際的な影響力を強化する。
4. より包括的な宇宙計画を始動させるため、光学リモートセンシングおよび合成開口レーダーの衛星コンステレーションを開発し、フォルモサ衛星 (フォルモサット) 8 号の第 1 衛星の打ち上げ作業を進める。省庁間の横断的連携によって衛星通信エコシステムを構築し、軌道投入用の打ち上げ機の開発、国家発射場の建設を行い、我が国の宇宙基盤技術のリソースを強化する。また、各段階に応じた宇宙テクノロジー人材の育成を推進し、国内の長期的な宇宙開発ニーズに応える。
5. 情報セキュリティテクノロジー研究センターを推進する。情報セキュリティの鍵となる重要なテーマに関する学術研究に焦点を当て、先見的な研究開発を深化させ、情報セキュリティ分野における学術的地位の確立を目指し、台湾の国際的認知度を高める。
6. 学術界に対し、高い演算能力高エネルギー効率を備えた先端チップの革新的なシステムアーキテクチャや、高度な製造プロセスおよびヘテロジニアスインテグレーションによるスタック工法について、先端チップの新たなアーキテクチャに関する創造的研究を実施するよう奨励し、チップアーキテクチャの設計および性能検証を加速させる。化合物半導体における高周波・高出力コンポーネント、電気回路、モジュールを開発し、国内の化合物半導体のエピタキシャル成長、製造プロセスおよびコンポーネント技術を向上させることで、電気自動車、6G、衛星通信および高速伝送などの新興アプリケーションに対応する。また今後 10 年で必要とされる先端半導体コンポーネントとその材料、先進的な製造プロセスの検査、量子コンポーネントのサブシステムなどの技術に関する研究開発人材を育成する。
7. 国防テクノロジーに関する学術研究を促進するため、教育機関や分野の枠を越えた学術研究を補助するセンターの設置を支援する。これにより、重要技術に関する研究開発の青写真を描き、先端技術の研究開発を模索して人材の統合と育成を図る。また、国防科学技術探索計画を推進し、今後 10~30 年の間に実現が見込まれる先端技術を模索し、学術研究センターのリソースおよび任務に結び付けることで、国防テクノロジーの重要技術の深化を図る。

二、基礎研究のリソースを蓄積してイノベーションに注力し、科学研究のコアリソースを統合して総合的な効果を発揮させる

- (1) 基礎研究への安定的な投入を行い、先端的で卓越した学術を追求し、分野横断的な協力や独創的な研究を

奨励する

1. 基礎科学研究を深く掘り下げ、研究テーマの独創性を強調して自由で革新的な科学的探究を奨励する。先端的な学術研究を推進し、国際的な先端研究コミュニティと連携する。基礎研究の深さと範囲を強化し、研究成果の実効性を重視することで、突破力と強い影響力を持つ科学研究成果を生み出す。基礎科学研究に対して長期的かつ安定的に支援を行い、強靱な科学研究エコシステムを構築し、科学イノベーションのリソースを強化して、科学によって台湾の新たな価値を創造する。
2. 社会のニーズに基づく科学研究の転換を促進し、全体的なテクノロジー計画を策定するという高い視点から、長期的かつ体系的な分野横断型の科学技術研究を推進する。研究者が社会の様々な課題に取り組み、国内の優位性を持つ分野に焦点を当て、差別化された価値を創造することを奨励する。学術研究成果の転換・実用化を推進し、国内において競争力を備えた自立的な重要技術と次世代の科学技術を発展させるために必要なリソースを蓄積する。それにより、研究開発成果が波及効果と影響力を生み出し、将来の台湾における新たな経済の重要な原動力となり、国家の希望プロジェクトと持続的転換の支えになることを目指す。

(2) コアインフラの最適化、リソースプラットフォームの統合を図り、研究開発サービスのリソースを拡大する

1. 国内の大学が単独で運営することが困難な、大型または高価な機器を使用する研究プラットフォームを構築・管理し、研究成果のデジタル管理を積極的に推進する。各分野のコアデータベースを洗い出して構築し、産業界・学界・研究機関への応用を拡大して普及させる。これにより基礎研究インフラ全体のリソースを高め、重要なイノベーション応用技術の発展を推進する。さらに、国内の優秀な研究チームによる革新的な研究開発成果を、共用のコアインフラに関連する実証プラットフォームを通じて、川上の研究から川中のスタートアップにつなぎ、川下の産業で実用化することで、国内のイノベーション経済に必要なテクノロジー研究開発プラットフォームの提供者としての役割を果たす。
2. 分野横断的なスマート防災テクノロジーの基礎研究を深め、災害の早期警戒に関する重要技術のリソースを最適化する。情報サービスと学術研究の官民部門が協力し、研究開発と実務応用の交流プラットフォームを創設し、各級政府に対して防災に関する科学研究と専門的なコンサルティングを提供する。これにより我が国の防災分野における国際的知名度と貢献度を向上させる。
3. 国内の産業界、学术界、医学界、研究界全体および将来のニーズを考慮し、専門的で高度なワンストップ型、オーダーメイド型のサービスとコンサルティングを提供する。バイオ医薬品分野における質の高い研究開発環境を構築し、台湾のバイオテクノロジー分野の成長を牽引する。

三、社会のニーズを洞察して多様な人材を育成し、テクノロジー外交を深化させてグローバルなチャンスをつかむ

(1) ポピュラーサイエンスを広めるため、あらゆる段階における分野横断型人材を育成し、研究人材のエコシステムを整備する。

1. 科学知識の重訳と普及を推進し、省庁の協力や、企業や法人と提携して革新的で多様性のある科学普及活動を実施するよう促す。同時にポピュラーサイエンスコミュニティのプラットフォームを連携させ、競争や活動、映像などを通じて国民の科学への関与を促す。国民の科学的探究に対する興味をかき立て、科学に対する理解と関心を高める。
2. 国内の科学研究に携わる人材の全レベルにおける育成と、分野横断的な発展を強化するため、多角的な協力で助成メカニズムを通じて、科学研究人材を安定的に支援する体制を構築する。科学技術人材のキャリアご

との特性に応じて、若い世代の優秀な人材に対する重点的な投資を行い、中堅世代の人材の研究リソースを充実させる。これにより台湾の研究チームを世界レベルへと引き上げる。女性研究者を支援して女性研究者の育成リソースを増やし、国際的競争力を備えた人材を充実させる。システムインテグレーション人材を育成し、社会のニーズに応じて新たなアプリケーションやサービスを創出する。

3. 産学共同研究において多様なルートを持つ協力メカニズムを強化する。国内の優秀な博士課程研究生が研究計画に参加することを奨励し、産業界の資金を学術研究に導入する。企業と連携して産業イノベーション人材や重要技術の研究開発人材を育成し、我が国の産業の革新的な配置と発展を支援する。国内でバイオ医療研究開発および臨床リソースを有する育成機関によるバイオ医療イノベーション拠点および特色ある人材育成モデルの構築を推進する。また、国際的なリソースと連携し、国際的視野と分野横断的統合能力を備えた商品化イノベーションと起業人材を育成する。
4. 国際的な科学研究における協力関係を引き続き拡大し、海外の人材ネットワークを統合して人材交流を促進する。省庁が協力して人材誘致のきっかけを作り、海外の優秀な人材の招聘を促進して、新興科学技術の発展に必要な人材を確保する。

(2) 台湾の強みを持つテクノロジーを基盤として国際的パートナーと連携し、先端テクノロジーの課題に共に対応する

1. 国際的なテクノロジーの発展動向と我が国が優位に立つ分野を把握し、適切なリソース配分を設定する。また5大信頼産業と6大コア戦略産業に合わせ、半導体、AI、精密医療、量子科学技術、サイバーセキュリティ防護および通信技術などの分野に焦点を当て、国内の産業界・学界・研究機関のリソースを世界と連携させる。協力の範囲を基礎研究から先端科学技術および産業応用へと拡大し、国家および社会全体に対する効果を高める。
2. 二国間の相互利益に基づく科学研究協力協定の締結を推進し、国際的組織に積極的に参加する。国際協力プラットフォームを構築し、二国間または多国間の国際協力モデルとメカニズムを活用して国際パートナーの資源とリソースを取り入れ、国内の科学研究および産業界の研究開発リソースを高める。これにより世界の科学研究における我が国の影響力を高める。
3. 新南向政策に合わせて科学研究の交流と協力を推進し、新南向国家（ASEAN、南アジア、オーストラリア、ニュージーランド）との結びつきを強化する。また我が国のテクノロジーと産業の優位性を活用し、地域におけるテクノロジー協力を推進し、テクノロジー外交を発展させ、我が国の国際的影響力を段階的に高める。

四、産学連携によるイノベーションと起業を広く奨励し、人文社会的価値観と融合させて健康的な台湾を創出する

(1) 研究開発成果の実用化を加速させ、世界の新たなリソースと連携する。AIによる創造を奨励し、イノベーションと起業の熱帯雨林型エコシステムを構築する

1. 各分野の基礎研究を科学研究の基盤として強化し、政府の「五大信頼産業」および「六大核心戦略産業」などの政策と合わせ、引き続き産学連携方式により、学界が成熟したコア技術のリソースを活用して企業のニーズに対応するよう働きかけ、共同事業体を組織して産業界に多様な技術サービスソリューションを提供する。研究の産業化と応用を推進するため、リソースを集約して技術の普及に投入し、学界の研究成果の産業への応用転換を加速させ、国家の競争力を高める。
2. 学術研究機関における商業的潜在力を備えた先見的な技術成果を発掘する。産業界、政府、学界が協力してイノベーションと起業の熱帯雨林型エコシステムを構築する。体系的な育成を通じて国内外の企業のメンタ

ーによる指導やリソースを導入し、学術研究成果の産業技術への転換を促進する。AI による創造に活力を注ぎ、産業の高度化とモデルチェンジを推進する。

3. 台湾科技新創基地（台湾テックアリーナ、TTA）の南北拠点を発展させ、ベンチャーチームの進出と成長を支援する。国際レベルのアクセラレータを導入し、グローバルな創造リソースと結びつける。優れた起業家を台湾に誘致し、事業を展開させ、交流する。ベンチャーチームを国内外の重要な展示会に参加させ、資金と受注を獲得できるようにし、グローバル市場およびイノベーションエコシステムと接続して、企業と地域の優位性を持つクラスターのモデルチェンジとイノベーションを加速させる。

(2) 社会のニーズに応じてテクノロジーと人文領域を融和させ、テクノロジーの力を健康産業の発展に活用する。

1. 持続可能な発展に関する統合的な研究に注ぎ、気候変動に対応した科学研究エコシステムに基づき、新たな気候モデルを開発し、独自の気候シミュレーション能力を向上させ、自然に基づく傾斜地の生態適応戦略を展開し、地域の気候災害に対するレジリエンスを強化する。次世代のローカル気候データおよび適応知識プラットフォームにより、気候ガバナンスに必要なエビデンスに基づく科学を整備する。
2. 「革新的な医療器材による精密診断・治療計画」を推進する。関連する実験施設や検査センターと協力して臨床試験の能力を強化し、研究開発の成果を医療産業と結び付け、国民の健康福祉の増進を図る。
3. 高齢者向けテクノロジー、新種の感染症、防疫、スマート医療、精密医療、再生医療、脳科学技術や次世代農業など、革新性と実用価値を備えた志向型の研究に取り組み、現在の社会・生活における重大な課題に対応し、国民全体の健康と福祉を増進する。
4. 精密健康産業の推進を図り、医療サービスの品質向上、産業の高度化を促進し、国際市場を開拓する。精密診断と治療用医療器材に焦点を当て、台湾の精密医療における分野横断的なバリューチェーンを整理し、学術研究技術の製品化や事業化を強力に促進する。スマート医療の産学共同事業体を推進し、産業間の分野横断的な連携を促し、研究開発への投入を強化し、製品技術の実用化と資金調達を支援し、海外展開によるビジネスチャンスの獲得を図る。サイエンスパークの企業と、周辺の医療機関および学術研究機関を連携させ、北部、中部、南部における精密健康産業チェーンの育成を支援する。
5. 精密スポーツ科学研究を通じて、スポーツとテクノロジーを結び付け、台湾の美しい価値観を構築するスポーツ文化エコシステムを拡大する。「健康な国民、健康な文化、健康な産業」を普及させ、「健康台湾」のビジョンに向かって前進する。また、包摂を志向するテクノロジー計画を推進し、省庁の枠を越えた協力や官民協力、市民参加などの方法により、現在の社会の不足部分とニーズに対して多様なソリューションを提供し、国民の基本的な権利を保障する。

五、産業の転換を主導し、特色ある産業クラスターを形成し、持続可能なサイエンスパークの推進と地域の均衡ある発展を図る。

(1) 産業のスマート化と高度化・モデルチェンジを加速させ、地域クラスターの付加価値と波及効果を促進し、産業の価値を高める。

1. 産業のデジタル化とネットゼロへの転換に焦点を当て、AI と IC チップの技術を結び付け、産業のイノベーションと高度化を推進する。半導体産業の優位性を活用して、民生への応用を志向し、あらゆる産業におけるイノベーションの原動力を喚起する。それぞれに特色ある産業クラスターを構築し、バランスの良い地域発展を両立させ、地域住民との共存共栄を実現する。
2. 台湾の科学技術産業の製造力の優位性を発揮し、省庁の枠を越えてリソースを統合する。産官学の各分野の

技術力を連携させ、テクノロジーの研究開発、アプリケーションサービスなどの分野横断的なイノベーションによって「国家を守る山脈」とし、台湾のハイテク産業のサプライチェーンをより強靱にする。これにより世界の産業バリューチェーンにおける重要なパートナーの地位を確立する。

(2) 産業発展のニーズを満たし、スマートサービスを最適化して、バランスの取れた持続可能なサイエンスパークを実現する。

1. ハイテク産業の発展ニーズを考慮しつつ、引き続き公共インフラの建設を推進して、サイエンスパークにおける各種インフラ建設と施設のメンテナンスを強化する。同時に行政サービスのデジタル化とスマート化を推進し、パーク内の企業や従業員のニーズを満たし、快適で住みやすく優れた生活環境を備えたサイエンスパークを発展させる。
2. 産業と生態のバランスの取れた発展を目指す。企業に対し、持続可能な転換を引き続き推進させ、グリーン低炭素技術や新興テクノロジー素材を取り入れ、グリーンサプライチェーンを構築する。省エネ、蓄エネ、創エネによるエネルギー転換を推進し、サイエンスパークの国際基準への連動を加速させる。2050 年のネットゼロ二酸化炭素排出目標へ向け、持続可能で自然と共栄するサイエンスパークを構築する。

II. 年度重要計画

作業計画名称	重要計画項目	計画区分	実施内容
国家科学及技術委員会	基礎科学研究計画	テクノロジーの発展	一、本計画はOECDの定義および関連文献の整理結果を参照し、計画を「興味探求型」「指向型」「リソースとコア施設の共用」「研究人材と国際交流」の4種類に分ける。 (1) 興味探求型…未知の分野の探求において、国内大学および研究機関による研究などを支援する。 (2) 指向型…実務的課題の解決を目的とし、対象となる各分野および分野横断型のプロジェクトや計画を支援する。 (3) リソースとコア施設の共用…コア施設、データベース、書籍、広報サービスなどの共用リソースを含む学術研究界のサービス提供能力を強化する。 (4) 研究人材と国際交流…研究者による長・短期国際交流や共同研究の奨励に関する計画を対象とする。 二、本計画は、基礎的な科学課題に対する深い探究と発掘に重点を置き、科学研究におけるイノベーションの研究リソース、創造力および生産力を蓄積することを目的とし、以下の重点項目を推進する。 (1) 縦のつながりを通じて、ボトムアップ型で行う特定のテーマの研究計画を推進し、学理におけるイノベーションとブレイクスルーを促進するとともに、人材育成の深さと範囲を拡大する。 (2) 分野横断的な横のつながりから、トップダウン型で行う重点テーマ計画および分野横断型計画を推進し、社会・経済・新興技術が直面する重大な課題に対応する。 (3) 共用施設のプラットフォーム間協力メカニズムを確立し、リソースの集中的な統合を通じて、各界の研究者が利用できるようなリソース共有型の高次コア施設を構築し、横のつながりによってリソース共有の最大効果を発揮させる。 (4) 我が国の科学研究人材の国際的な経験と交流を強化し、科学研究人材の包括的なエコシステムを構築する。 三、114年（2025年）における基礎研究計画の強化、推進の方向性 (1) 学術・研究機関による科学的探究を安定的に支援し、研究者が分野横断的な協力および独創的な研究に取り組むことを奨励し、先端的かつ卓越した学術の追求を積極的に進めることで、我が国の学術の国際的影響力を高め、自主的な重要技術の突破口となる源泉を広げる。 (2) 社会のニーズを洞察し、台湾の産業界・学界・研究機関における将来の多様な人材を育成し、世代や分野を超えた科学研究人材の配置を図り、中堅世代の研究リソースを強化する。また、台湾先進科学技術研究センターおよび科学技術民主・社会研究センターを推進し、優れた研究リソースを結集して、国際的な研究課題において主導的地位を持つトップ研究チームを形成し、先端的研究の発展を促進する。

			(3) 国内の大学が単独で運営することが困難なコア施設を構築・維持運営し、関連する研究リソースおよびプラットフォームを最適化・統合して、施設や機器の研究開発サービス能力を拡大し、国内に優れた研究開発環境を構築する。
2023-2026 スマート国家 へ向けた支援 計画の決定	テクノロジーの 発展	テクノロジーの 発展	一、我が国のテクノロジー政策の青写真と重要なテクノロジー政策の配置を決定し、世界的なテクノロジーの潮流に対応し、台湾のテクノロジー発展の推進力を高める。テーマごとにテクノロジーを研究・分析し、台湾におけるテクノロジー政策の配置の参考例を作り、ICチップによる台湾産業イノベーションプラン、台湾 AI 行動計画 2.0、高齢者向けテクノロジー産業計画、ネットゼロ技術プランなどの重要なテクノロジー計画を策定し、継続的に推進する。 二、省庁横断型の協力体制づくりを牽引し、テクノロジーリソースの適切な配分と利用効率の最適化を図り、我が国の科学技術発展を強化し、産業界のイノベーションを促進する。我が国の重要なテクノロジー政策を推進するため、省庁横断型の会議を開催・調整し、また重点的なテクノロジー施策に関する改善戦略を提案し、具体的な政策を形成する。
「ネットゼロ」 2050 年ネット ゼロカーボン 削減に向けた 先見的なテク ノロジー開発 と実践的計画	テクノロジーの 発展	テクノロジーの 発展	一、台湾の2050年ネットゼロ排出目標に対応するため、「ネットゼロテクノロジー案（2023～2026）」により「持続可能および先端的エネルギー」「低炭素（または炭素削減）」「ネガティブエミッション」「循環」「人文社会科学」の5つのネットゼロテクノロジー分野を配置し、省庁間の横断的協力により、社会、産業、生活、エネルギーの4つにおける体系的転換を支援する。 二、本計画は上記分野に対して必要なリソースを投入し、地熱、水素エネルギー、バイオマスエネルギー、海洋エネルギーなどの再生エネルギーの発展を加速させるとともに、世界のネットゼロ技術の発展動向を把握しつつ、ネットゼロ適応に関連する社会科学の基礎を継続的かつ柔軟に構築していく。 三、各省庁が共同で推進する複合型ネットゼロプロジェクト計画を企画・連携し、学界と法人の研究開発リソースを統合する。産業界とも連携して実証および実用化を加速させる。また、世界と連携して将来必要となるネットゼロ科学技術人材を育成し、国際的な研究開発協力と交流を促進し、国家の希望プロジェクトの実現を支援する。
ブルーオーシ ャンへ航行 ― 海洋研究を平 面から立体へ と展開し、海洋 の持続可能な 利用の礎を築 く	テクノロジーの 発展	テクノロジーの 発展	一、海洋における先端技術の発展に必要な転換および技術統合のニーズに対応し、我が国における高度な海洋専門技術を有する分野横断型人材を育成するため、本計画を推進する。計画の主な注目点は以下の通りである。 (1) 台湾周辺海域における運用型4次元気象・海洋研究および防災観測ネットワークの構築 (2) 太平洋北西部におけるさまざまなゲノムデータの包括的な調査および混合型生態系における機能と役割への応用に関する研究 (3) 太平洋北西部における海洋ブルーカーボンの統合研究 (4) 深海におけるクリーンエネルギーの探索 (5) 国際的制度に連携した国家レベルの海洋ガバナンスの構築 二、本計画は様々な分野の科学者が問題解決のために行った体系的な研究が提

			供するデータをもとに、我が国の先端的な海洋科学研究のリソースを効果的に活用し、分野横断的な技術統合の広がりや深みを拡大する。これにより、産業のイノベーションや科学の限界突破に向けた先端的研究の強力な手段を提供し、科学に基づく政策ガバナンス体制を通じて具体的な実践方法を示し、海洋の負荷軽減および海洋のレジリエンス向上という目標を実現する。また主要な海洋国家や近隣諸国との交流を深め、実質的な協力関係を拡大することにより、台湾を西太平洋における海洋科学研究の重要拠点にする。
	台湾量子次世代基幹技術開発計画	テクノロジーの発展	近年の世界的な量子科学技術の急速な発展と、それが将来的にサイバーセキュリティ、金融、産業、さらには国防にまで及ぼす極めて大きな影響に対応するために、本計画を推進する。我が国の量子科学技術におけるハードウェア技術およびソフトウェア開発の実力を加速的に向上させるため、国家科学委員会は中央研究院および経済部とともに省庁横断型協力による計画を策定し、量子コンピュータおよび通信ハードウェアの中核部品に関する重要技術の開発、量子ソフトウェア研究開発プラットフォームの構築、産業交流・協力のためのプラットフォームの確立、量子世代の技術研究開発人材の基盤強化、量子科学の普及教育の推進、量子研究拠点の整備と先端的なコア施設の構築、量子サブシステムに関する先端ハードウェア技術の研究開発などの重点分野において、未来の量子世代に必要な先行的な布石を積極的に推進する。これにより、我が国が製造プロセスやパッケージングなどの産業分野において優位性を維持し、限られた資源の中でさまざまな分野の人材やチームを結集し、台湾の発展に最も適した路線を構築することを目指す。
	台湾空間の持続可能な計画に関する先端科学技術研究	テクノロジーの発展	一、過去の各科学分野による取り組みや、我が国における空間計画推進の経験を踏まえると、我が国には、分野横断的かつ先見的なスマート国土空間計画の手法と戦略が不足している。そのため、先端テクノロジープラットフォームの構築を推進し、省庁横断型の協力メカニズムを通じて、デジタルツインおよび多様なリモートセンシング技術の開発を積極的に進め、我が国の空間計画、都市発展戦略、都市・農村計画能力を高める。同時に土地利用データと都市の微気候変動、海洋国土資源管理などの調査研究を統合し、都市大気環境の変動や海洋生態系保全といった重要課題を深く理解することで、防災科学と空間計画戦略の統合的な検討と分析を行い、包括的な方法論を構築する。また、分野横断・省庁横断型の情報提供や技術方法論の連携を通じて、戦略目標の達成を図る。最終的には、国土における災害リスクの軽減、持続可能な発展目標の実現、そして台湾の国土と環境が将来の課題に対応できるようにする。 二、以下を主軸として計画を推進する。 (1) デジタルツイン、多様なリモートセンシング技術に基づく空間計画の応用戦略に関する研究 (2) 土地利用データと都市の微気候変動に関する統合的研究 (3) 分野横断的な地球科学および持続可能な海洋国土に関する先行テクノロジー研究

			(4) 防災科学と空間計画戦略を統合した先導的研究
気候変動適応の科学研究エコシステムを構築—先端的気候科学、部門横断的なリスク評価、および分野横断的な適応科学研究。	テクノロジーの発展		「気候変動対処法」の政策ニーズと実務への応用を志向し、また「気候変動適応科学研究エコシステム」の運用枠組みに基づいて、先端的な気候科学および適応科学研究を推進する。台湾における気候変動科学およびシミュレーション能力、データの応用と分析を強化し、地域の気候変動傾向の予測および物理的リスクを把握し、分野横断および階層横断の適応研究を展開する。また、台湾の気候情報に基づく適応応用サービスを深化させ、知識から行動への実践を進める。気候適応科学研究を通じて政策施行との連携を図り、関係部門の国家希望プロジェクトにおける適応ガバナンスのためのエビデンスに基づく科学的基盤を支援する。 一、台湾における気候モデルの開発および構築能力を向上させ、新たな気候モデルの枠組みを開発し、自主設計による次世代地球システムモデルを構築するとともに、国際的な気候予測研究に参加し、台湾の気候科学研究の実力を共有する。 二、国内における気候変動の傾向および影響に関する科学研究成果を発表し、国内に適用可能な分野横断的な適応応用の手法およびツールを開発する。また、気候変動に関するビッグデータのデータサービスを通じて、AI技術と結合し、次世代プラットフォームのサービス性能を強化する。 三、ネイチャー・ベースド・ソリューション（NbS）によって斜面地の生態系サービスを向上させる統合的な実証研究を推進し、NbSが7つの社会的課題に対応する際の斜面地環境への影響を分析する。また、NbSの8つの原則に基づき、住民の福祉と自然の共栄・共存を実現する斜面地の適応戦略を策定する。 四、地域における災害の特性および災害レジリエンス能力を整理・把握し、地域の気候適応および災害レジリエンスに関する研究と発表を推進する。生成AI技術を活用し、階層を超えた災害情報の分析判断および分散型の情報を即時に伝達・共有する仕組みを強化し、科学的サービスを通じて地域の気候災害に対するレジリエンスを高める。
先端スマートインタラクティブディスプレイ技術研究開発プロジェクト	テクノロジーの発展		ディスプレイ産業における重要技術の規格およびシステム化への要求、ならびに各種情報通信技術の発展に対応するため、5G 通信と連携し、AI 演算、IoT センサー、XR インタラクション、4K/8K 高画質、高色彩、デジタル光学、低消費電力、拡張性などの中核技術を組み合わせる。スマートライフの利用シーンを通じて、分野横断的なイノベーション応用およびディスプレイシステム技術の洗練を進め、先端ディスプレイ技術の分野横断的な応用および研究開発人材の育成を図る。
国防テクノロジーフロンティア探索計画	テクノロジーの発展		一、本計画は、大学間および分野横断型で学術研究センターを構築・推進するものであり、以下の7つの主要テーマ分野におけるセンター型テクノロジーシンクタンクを含む。情報・電子・通信およびスマートテクノロジー、重要システムの分析と統合、先端センサーおよび精密製造の研究、最先端の動力システムおよび飛行ビークル、先進的システム工学の研究、先進的な艦艇および水中ビークル

			ル、先進材料および力学解析の研究。これらの分野において、省庁横断のリソースを統合し、重要技術の研究開発ロードマップの策定、先端技術の研究開発と探索、統合および人材育成を行う。 二、国防テクノロジーの発展プロセスを加速させ、現在の国防システムにおけるテクノロジー水準および運用思想を明確に凌駕する、今後 10 年から 30 年の間に具体的な実現が見込まれる先端技術を探査し、学術研究センターのリソースおよび任務と結びつけることで、国防テクノロジーの重要技術を一層深化させる。
	新興ICチップの設計に関する研究開発計画	テクノロジーの発展	台湾の IC 設計産業の競争力を強化するため、次世代で求められる新興チップ設計の重要技術の戦略的配置を推進し、革新的な研究手法を探査する。その内容には、次世代の演算用チップ、先端的な通信チップ、および先端的な電子設計自動化 (EDA) ソフトウェアの研究開発が含まれ、併せて関連するチップ設計環境の整備を行い、高度なチップ設計の研究開発人材を育成する。
	次世代化合物半導体の先見的研究開発計画	テクノロジーの発展	次世代化合物半導体に関する先端技術の研究開発を目標とし、産業界・学界・研究機関のチームを統合して、高周波・高電圧の化合物半導体デバイスおよびシステム応用に関する重要技術と中核的リソースを開発する。これにより、国内の化合物半導体におけるエピタキシャル成長、製造プロセス、デバイス技術の水準を向上させ、研究開発人材を育成し、将来的な EV、Beyond 5G (6G)、衛星通信などの新興アプリケーションのニーズに対応する。
	無人機の重要技術に関する先端研究開発計画	テクノロジーの発展	国内における無人機の重要技術の不足を補い、我が国の無人機関連人材を育成するため、固定翼型の編隊飛行、自律測位による群体飛行、異種協調システム、群体ドローンの通信中継ネットワーク、群体による高速マッピング構築、無人機に対する対抗技術などを先端的な発展技術として位置づける。これにより、我が国の無人機技術における研究開発能力を高め、技術と実務応用との連携を促進していきたい。
	IC チップ主導による先端チップ設計ソフトウェア技術開発計画	テクノロジーの発展	先端的な高性能および特殊用途向けチップの設計能力は、すでに国力を象徴する存在となっており、電子設計自動化 (EDA) の重要技術を掌握することは、我が国の産業全体を世界的な戦略的リーダーシップの地位へと押し上げる可能性を持つ。我が国のチップ設計ソフトウェア技術およびツールの開発能力を維持・向上させるため、革新的な研究手法の継続的な探求とともに、産業界におけるツール開発のスケジュールを加速させる。併せて、自動化されたチップ設計ソフトウェア技術およびプラットフォームサービスの構築、試作量産ライン向けのチップ設計ソフトウェア技術ツールの展開を図り、台湾におけるチップ設計ソフトウェア技術の発展能力を維持・高度化する。
	オングストローム世代半導体—先端半導体および量子技術研究開発	テクノロジーの発展	今後10年間に必要とされる先端半導体デバイスおよび材料、先進的なプロセス検査技術、量子デバイスサブシステムなどの技術に関する先行的な布石を推進する。作業内容は以下の通りである。 一、Å（オングストローム）スケールの半導体検査技術を開発し、合計2件の検査技術を産業界のインライン計測・試験工程へ技術移転する。

	計画		二、面積の大きな低次元半導体素材の成長技術を開発し、中期的には実験室レベルで4インチの達成を目指す。 三、超高密度3次元ICチップ、極低消費電力デバイスおよび計算アーキテクチャ技術を産業に拡大し、等価1ナノメートルチップに適用可能な2件の国際的に先導的な技術指標を研究開発する。 四、高品質な量子ドットデバイスを製作する。
	精密健康管理に基づく次世代農業	テクノロジーの発展	一、予防医学と精密農業を組み合わせ、地域の天然素材や農産素材に含まれる機能性成分を研究開発し、それらが特定グループにおける健康改善および疾病対応にどのように応用できるかを探る。これにより、高齢者や潜在的な健康リスクを有する人々に対する予防的健康管理および健康支援のニーズに応えとともに、地域の天然素材および農産素材の高付加価値な応用を強化し、農業がさまざまな形で健康産業チェーンを支援するよう促す。 二、以下の戦略を推進する。 (1) 地域由来の素材に含まれる特定の有効機能成分の機能特性、作用メカニズムおよび応用形態について研究する。 (2) 高い安定性特性を持つ地域の天然農産素材（例：高成分品種、GAP／GQP生産規範に準拠したもの）を対象に、特定の有効機能成分の標準的な抽出、加工および規格化量産技術の開発・検証を行い、品質管理基準を確立する。 (3) 最適な年齢層や特別な栄養ニーズを持つ集団（例：メタボリックシンドローム、変性疾患など）を対象として、目標成分の適用対象および適用範囲を明確化し、臨床応用における学術的根拠およびデータベースを構築するとともに、高い経済的潜在力を持つ精密栄養向け農産原料または製品のプロトタイプを開発する。
	疾病指向型バイオメディカルデータベース最適化とテクノロジー応用計画	テクノロジーの発展	疾病を指向とし、台湾特有の疾病に関する先端的な臨床バイオメディカルデータ（例：ゲノムデータ、医療画像、デジタル病理データなど）の収集と継続的な最適化を通じて、国内外のバイオメディカルデータの活用を推進し、臨床医療および産業における価値を有する「黄金データ」を探索する。臨床応用の可能性を持つ製品を選定し、法規制実務との連携を図ることで、バイオメディカルデータの現場への応用を加速する。
	台湾スマート医療イノベーション高付加価値化推進計画	テクノロジーの発展	我が国のスマート技術と医療リソースを統合し、高品質な研究開発成果を臨床応用へと転換することを推進する。併せて、一連の支援措置を通じて、学術・研究機関におけるスマート医療の研究開発から商業化までの障壁を解消する。市場におけるビジネスモデルの構築、国際特許の戦略的取得、製品認証の取得から、国際市場への商業製品の展開までを支援し、重要な学術・研究成果を確実に臨床応用へと進め、医療サービスの質を向上させ、国民の福祉を増進することを目指す。同時に、バイオ産業とICT産業の連携によるシナジー効果を発揮させ、我が国のスマート医療産業のエコシステムを整備・強化し、スマート医療製品を国際市場へと広く普及させる。

台湾動物実験代替テクノロジー計画	テクノロジーの発展	3R に基づく代替法のイノベーションを通じて、前臨床研究段階におけるトランスレーショナルリサーチのリソースと研究効率を向上させる。本計画では、ヒト組織システムを活用し、in vitro（体外）試験、オルガン・オン・チップ、マイクロフルイディクス（微小流体技術）、コンピュータシミュレーションなどの動物実験代替試験法の開発を奨励する。併せて検証メカニズムを構築し、代替技術や製品の実用性を強化する。
バイオメディカル・イノベーション産業の商品化人材育成計画	テクノロジーの発展	地域に根ざした人材育成メカニズムを整備するため、国内においてバイオメディカルの研究開発および臨床のリソースを有する育成機関が、バイオメディカル・イノベーションの実践拠点および特色ある育成モデルを構築することを推進する。また、国際的なリソースと連携し、国際的視野と分野横断的な統合能力を備えた、バイオメディカル産業における商品化イノベーションおよび起業人材を育成する。
マイクロバイオームにおける精密ヘルスケアの研究開発および応用	テクノロジーの発展	本計画は臨床応用およびマイクロバイオーム研究における学術成果の産業化の実現を志向し、先見性・革新性・市場応用性および国際競争力を備えた人体マイクロバイオームの統合型研究を奨励する。 研究内容は、地域の特有菌株の開発と、国民に多い主要疾患の予防・診断・治療に関連するマイクロバイオーム製品の開発に焦点を当てており、研究成果の産業化応用を最終目標とし、臨床応用および商品化の加速を図る。
防疫科学研究の発展およびリソース構築計画	テクノロジーの発展	ポストコロナおよび将来の新興感染症という課題に対応するため、学術界の防疫に関する研究開発リソースを統合し、基礎研究および臨床研究に焦点を当てる。防疫製品の研究開発から検証までを一貫して担うネットワークを構築し、産学連携を促進して防疫製品の実用化を加速させる。また、BSL-3（バイオセーフティレベル 3）実験室の専門人材を育成し、国際的な連携を継続的に推進することで、新興感染症に対する防疫のレジリエンスを高める。研究成果が国民全体に恩恵をもたらし、国民の健康と福祉の向上に寄与することを期待する。
超高齢社会における精密再生医療始動計画	テクノロジーの発展	新興の細胞治療法を開発し、革新的な細胞治療技術に関する評価および検証プラットフォームを構築することで、安全性と有効性を備えた細胞治療技術を、医療上の切実な未充足ニーズ（Unmet Medical Need）に応じて提供できるようにし、国民の医療効率および治療の精密性を高める。また、新興の再生医療製品の臨床応用および産業化の推進を加速させる。114年度（2025年度）の計画目標は、新興細胞治療技術を臨床試験段階へと進展させることにあり、重点的な研究開発項目は以下の通りである。 一、新興の細胞治療法の開発：誘導多能性幹細胞（iPSC）、遺伝子工学および改変による新型細胞、エクソソーム、同種幹細胞または免疫細胞など。 二、各種細胞治療技術の安全性および有効性に関する評価プラットフォームの構築：スーパードナー由来細胞の評価方法の確立。
ブレインテクノロジーの革新研究開発	テクノロジーの発展	分野横断的な統合および国際的な協力を通じて、大脳の謎の解明、臨床応用および産業的価値の創出を目指し、脳および神経科学における革新的かつ突破的な研究開発と中核技術を発展させる。神経系の機能障害または変性のメカニズム

	よび応用		を解明し、その臨床的関連性を検証するとともに、技術的価値の波及を通じて産業の発展を牽引する。重要項目は以下の通りである。ブレインテクノロジーの革新研究開発。神経系の障害・機能喪失の予防、診断および治療。国際的なパートナーシップの構築。
	スポーツテクノロジーの応用と産業発展—精密スポーツ科学研究プロジェクトおよび運動科学リソース拡充計画	テクノロジーの発展	本計画は、「台湾スポーツ×テクノロジー産業戦略発展会議（SRB）」の結論に基づき、第2期「精密スポーツ科学研究プロジェクト計画」の継続的な企画・推進を行うものである。また、スポーツ科学研究のリソースを継続・強化するため、研究成果をスポーツトレーニングおよび大学の研究センターへと橋渡しし、運動科学のリソース拡充に注力する。
	包摂を志向するテクノロジー計画	テクノロジーの発展	適切なテクノロジーの導入およびエビデンスに基づくガバナンスの政策分析モデルを通じて、現場で直面する社会的排除の問題を解決し、市民団体がデジタルデータを活用する能力を育成してデジタル格差を縮小することで、台湾社会における帰属意識とレジリエンスを強化し、社会的弱者の社会的権利を高める。
	ポピュラーサイエンスと国際協力プロジェクト計画	テクノロジーの発展	一、公共科学教育とポピュラーサイエンス業務の推進 （1）革新的かつ多様な方法でイベントを企画・実施し、一般市民や学生の科学に対する関心と理解を高め、国民の科学リテラシーを向上させる。具体的には、サイエンスキャラバン列車、研究現場の見学、サイエンス映像コンテストなどの活動を推進する。 （2）ポピュラーサイエンスの映像制作のため、国内の科学者とメディア産業との連携を促し、高品質なサイエンス映像を制作・発信することで、科学知識の普及を拡大する。 二、国際的な科学技術協力および交流業務の推進 （1）グローバル戦略の展開に基づき国際的な科学研究協力を推進し、二国間協力協定の締結を進め、多様な国際研究協力の枠組みを構築することで、我が国の研究者に国際化された研究環境を提供し、科学研究のリソースを強化する。 （2）新南向政策に合わせ、新南向諸国との科学研究協力および人材交流を拡大・促進し、友好国とのネットワークを構築する。併せて、我が国の研究開発力および産業上の優位性を活用し、友好国との科学研究協力関係を推進して、地域における影響力を強化する。 （3）国内の専門家・学者が国際的な学術組織や学術誌において重要ポストに就くことを奨励し、国内の学術コミュニティの国際的影響力を高める。
	イノベーションおよび応用テクノロジー研究計画	テクノロジーの発展	一、テクノロジー政策の研究および推進：科学的手法を導入し、テクノロジーの発展動向の情報収集および分析研究を行う。国家の中核的な重要技術に関する政策の分析・検討を推進し、次期「国家科学技術発展計画」を提案する。国内における共通認識を基盤として、我が国のテクノロジー発展に関する長期的ビジ

		ョンを構築し、政府がテクノロジー政策を策定し、テクノロジー研究開発を推進する際の根拠とする。 二、政府のテクノロジー発展計画に関する審議および成果評価・管理：政府のテクノロジー発展計画を毎年審議し、研究開発予算を適切に配分・効果的に活用することで、国家の科学技術力を高める。また、成果評価および管理のシステムを通じて、各省庁が計画目標を確実に達成し、政府のテクノロジー政策を着実に実行することで、我が国の国際的なテクノロジー競争力を向上させる。 三、応用テクノロジー研究の企画および推進：先進的な研究開発の動向および潜在的な重要課題を分析し、科学技術の先導、先端的な応用、あるいは成果の波及を促進するための国際協力戦略を提案し、我が国の研究開発における国際的影響力を高める。また「GiCS (Girls in Cyber Security)」コンテストやテクノロジー研究などの活動を推進し、就学段階から就業段階に至るまで、女性の情報セキュリティおよび応用テクノロジー分野への関心を引き出す。
沙崙 C 地区スマートインフラ統合および運営計画	テクノロジーの発展	沙崙 C ゾーンにおけるスマートインフラを強化・維持し、A・B 棟ビルのスマートインフラシステムを統合する。統合対象には、スマート監視システム、スマートビル管理システム、ICT サービスシステム、スマートセキュリティシステム、スマートエネルギー管理システム、サービス管理システムが含まれ、ビル全体のスマート化サービスおよび保守管理機能の充実を図る。すでに入居している企業の支援を継続しつつ、ビル運営および誘致サービスのリソースを積極的に向上させ、ゾーン全体のスマートインフラ統合と高度化を強化することで、国際水準の入居チームに優れた就業環境を提供し、ゾーン全体のテクノロジー産業発展の後ろ盾となる。さらに、成熟した産業集積およびエコシステムを構築し、アジア太平洋地域における重要なサイバーセキュリティおよびスマートテクノロジー産業の発展拠点を築き、サイバーセキュリティとスマートテクノロジーに特化した産業クラスターの形成を推進する。
重要課題に対応する AI 研究計画	テクノロジーの発展	一、台湾AI卓越センター：研究開発、人材育成、ガバナンスを戦略目標とし、AI研究開発チェーンを連携させ、戦略的な国際協力を強化する。これにより、主要国および国際機関との協力機会を拡大し、我が国におけるAI発展の国際的影響力を高める。 二、人工知能テーマ型研究プロジェクト：学術研究機関による先端的AI研究への取り組みを支援し、学術研究および人材の基盤を強化することで、我が国のAIにおける国際競争力を継続的に推進する。
台湾サイバーセキュリティ卓越深化計画—学術型サイバーセキュリティ研究	テクノロジーの発展	サイバーセキュリティテクノロジーのリソース統合を促進し、セキュリティ技術の発展動向を把握するとともに、先端的なサイバーセキュリティ研究開発を深める。中長期的なサイバーセキュリティ研究の展開を図ることで、台湾におけるサイバーセキュリティテクノロジーの先進的な学術研究における発信力を高める。
産学研連携に	テクノロジー	一、川上の学術・研究機関と川下の産業界との緊密な連携を促進し、産業界と学

よる価値を飛躍させる計画	ジーの発展	界が共同で産学連携に取り組むことを促し、複数の産業分野における発展を実現する。併せて、我が国の重要技術の発展を戦略的に配置し、産業のニーズに応じた研究開発人材を育成する。 二、産学連携のアライアンスを組織し、研究開発成果の管理と普及を推進することで、学術・研究機関における革新的な科学技術成果を産業界へ導入・波及させ、研究成果の実用化および活用効果を高め、産学研によるイノベーション協力のエコシステムを活性化する。
研究成果のイノベーションおよび起業連携計画	テクノロジーの発展	一、学術・研究機関における市場性を有する研究開発成果を主体的に発掘し、初期の市場検証およびビジネスモデルの策定を完了させ、新興企業アクセラレータと連携して初期案件を育成するとともに、今後の成長に必要なリソースとの連携を支援する。 二、学術・研究機関におけるイノベーション起業を促進するための推進メカニズムとプロセスを設計し、新興研究開発チームによる成果の商品化プロセスを加速する。研究開発型スタートアップを起点とし、台湾のイノベーション事業が各成長段階において国際的ネットワークと連携を強化できるよう支援し、台湾の科学研究および発明成果の産業化を促進するとともに、国際的な資金および市場の獲得を目指す。
精密ヘルスケア研究開発およびクラスター発展計画	テクノロジーの発展	一、精密ヘルスケアに関する学術・研究成果の産業化を推進するため、学術研究機関と産業側を連携させ、研究成果の現場実装を促進する。あわせて、台湾の情報通信産業と医療分野の強みを分野横断的に統合し、精密ヘルスケア技術の開発に焦点を当てる。 二、学術研究チームによる先端的・分野横断的な精密ヘルスケア技術の研究開発を支援し、同時に国際展開の可能性を有する研究チームを把握・支援することで、産学連携および国際的なネットワークを通じて研究成果の産業化を実現する。これにより、台湾ブランドのもとで精密ヘルスケアの強みを世界にアピールし、最終的に国際市場への展開を図る。
テクノロジーとスタートアップのエコシステム連携計画	テクノロジーの発展	一、国際水準の模範的スタートアップ拠点を構築し、台湾における学術・研究分野のイノベーション起業およびパークの研究開発リソースを牽引して、技術の現場実装を加速させる。国内外のアクセラレーター・ネットワークリソースを連携させ、テクノロジー系スタートアップチームを育成し、企業と地域の優位産業クラスターの革新と転換を加速させる。 二、世界トップレベルの起業家を台湾に誘致し、台湾における起業人材の育成リソースを強化する。
スタートアップとイノベーション主導チップ・イノベーション起業の国際連携	テクノロジーの発展	一、チップ関連のスタートアップ技術を活用し、我が国の産業イノベーションを促進し、我が国の半導体産業のサプライチェーンクラスターという強みを活かす。グローバルなコンペティションを通じて、国内外の有望なチップ系スタートアップを選抜し、台湾の半導体産業サプライチェーンと連携させることで、イノベーションにおける世界的な連携と将来の市場機会を戦略的に構築し、産業の競争力を持続的に強化・向上させる。

	よびチップ & システム・イノベーションチャレンジ計画		二、台湾での事業化に成功したチップ系スタートアップに対し、その先端技術を我が国の産学研機関と連携させ、具体的な研究開発・試作協力を行うよう支援するとともに、必要な中核的リソースを提供し、台湾を世界の革新的チップ技術の実装拠点として確立させる。 三、重要なシステムソリューションの不足部分や先端的なシステムに焦点を当て、民間資金をイノベーション起業に誘導・連携させることで、有望なチップ系スタートアップの発展および応用への支援を強化する。
	重点産業における高度人材育成計画	テクノロジーの発展	一、研究成果の産業化プラットフォームにおける産学連携、技術移転、スタートアップ支援、国際協力の実効性を高め、産学研の三者による共同研究開発および協力を推進する。 二、企業によるリソース投入を促し、産学連携および人材育成を進めることで、次世代半導体技術のサービスおよびカリキュラム開発を戦略的に構築し、産業発展にイノベーションの要素を取り入れることを図る。
	国家科学及技術委員会による大学等高等教育機関への特別優秀人材の招聘奨励補助計画	テクノロジーの発展	一、行政院が2010年7月30日付で発出した「院臺教字第0990101117号」に基づき、教育部による「大学等高等教育機関における特別優秀人材の招聘および定着に関する柔軟な給与制度の実施案」を承認し、各機関が優秀な人材の定着および招聘を継続的に推進することを奨励する。 二、教育部、各機関の学校管理基金、および国家科学及技術委員会からの補助金など複数の予算源を組み合わせることにより、機関が優秀な科学技術人材を継続的に招聘できるよう奨励し、大学等高等教育機関が教育研究人材を招聘・定着させるために必要な給与提供条件を整備することを支援する。
新竹サイエンスパーク管理局	新竹サイエンスパーク建設計画	公共建設	新竹サイエンスパーク内の企業に質の高い投資環境を提供するため、インフラを整備する。本計画の主な内容は以下の通りである。 一、新竹サイエンスパーク（宝山用地）第2期拡張計画…拡張工事の実施 二、新竹サイエンスパーク（X拠点）設立計画…拡張用地における建築工事の実施 三、龍潭パーク拡張計画…拡張計画の実施 四、新竹サイエンスパークにおけるその他の建設計画…湖浜一路宿舍建築工事、銅鑼パーク汚水処理場専用放流パイプ延伸工事、龍潭パーク第2期開発工事、新竹サイエンスパーク再生水統合設計・施工一括工事、宜蘭パーク第3期標準工場建屋建設工事
中部サイエンスパーク管理局	中部サイエンスパーク建設計画	公共建設	中部サイエンスパーク内の企業に質の高い投資環境を提供するため、インフラを整備する。本計画の主な内容は以下の通りである。 一、台中パーク…水1用地の配水池、送水管増設工事、汚水処理場改修工事、汚水送水管増設工事、単身者用宿舍2期新築工事、下水道作業設備および警察勤務作業設備の取得作業 二、虎尾パーク…駐車場建設工事、下水道作業設備および警察勤務作業設備の取得作業 三、后里パーク…スマート水道システム関連工事、后里および七星パークにお

			ける排水溝の異臭改善および排水管強化工事、停4駐車場拡張工事、警備業務棟の建設工事、下水道作業設備および警察勤務作業設備の取得作業 四、二林パーク…水資源センター1期1階工事、水資源センター2期工事、パーク外再生処理水パイプラインおよび配水池工事、パーク外汚水再生処理場工事、第1期標準工場の建屋建設、第1期標準工場の建屋外観整備および駐車場建設工事、宿舍第1期建設工事など
	国立 中 科 実 験 高級 中学 建設 計画	公共建設	一、中部サイエンスパーク内の企業従業員の子女の就学ニーズに対応するため、バイリンガル教育用、小学校用などの校舎の新設工事について施工管理を行い、海外からより多くの優秀な人材を中部サイエンスパークに呼び込むことで、企業誘致や資金投入を図る。 二、校舎の建設完了後は、バイリンガルクラス 12 クラス、小学校 32 クラス（特別支援学級 2 クラスを含む）、幼稚園 7 クラスを設置し、全校で約 1390 名の児童・生徒に対応可能な教育環境を提供する予定である。
南部サイエンスパーク管理局	南部サイエンスパーク建設計画	公共建設	南部の各サイエンスパーク内の企業に優れた作業環境や生活環境を提供し、地域のバランスの取れた発展を目指す。本計画の主な内容は以下の通りである。 一、台南パーク第3期拡張計画…3期拠点用地開発工事（第1、2期）、3期拠点用廃棄物処理場建設工事（第1期） 二、橋頭パーク設立計画…用地取得費、配水池新設工事、調整池新設工事、汚水処理場工事、複合型オフィスビルおよび標準工場建屋の新築工事。 三、嘉義パーク…開発計画、開発工事、配水池建設工事、汚水処理場建設工事、パークサービスセンターとスマート工場新設工事 四、屏東パーク…開発工事、配水池新設工事、汚水処理場建設工事、パークサービスセンターとスマート工場新設工事 五、楠梓パーク設立計画…パークの計画開発、楠梓連絡道工事 六、台南パークのその他の建設計画…第7配水池および給水管ラインの機能向上工事、資源再生センター改築工事、パーク水道供給最適化工事、永康汚水再生処理場拡張工事、安平汚水再生処理場拡張工事 七、高雄パークのその他の建設計画…宿舍および工場建屋管理システム設置工事
	国立 高 科 実 験 高級 中学 建設 計画	公共建設	高雄のサイエンスパーク新設に合わせ、企業誘致のインセンティブとして高科実験高校を設立し、従業員子女教育のニーズに応え、地域の教育と共栄する。
	国立 屏 科 実 験 高級 中学 と 嘉 科 実 験 高級 中 学 の 建設 計画	公共建設	嘉義および屏東へのサイエンスパーク新設に合わせ、企業誘致のインセンティブとして嘉科実験高級中学と屏科実験高級中学を設立し、従業員子女教育のニーズに応え、地域教育との共栄を図る。
国家災害防救 科技センター	基礎科学研究 計画－国家災 害防救科技セ	テクノロジーの 発 展	台風、洪水に関するスマートテクノロジー研究の発展、災害への応用技術と意思決定モデルの推進、防災テクノロジーの実用化とそのサービスを提供するプラットフォームの構築により、防災テクノロジーの中心的リソースを継続的に共有す

	ンター発展計画		る。また革新的な防災テクノロジーの発展、政府の防災任務を推進する専門的なコンサルティングやサービスを提供し、国家全体の防災救助能力と災害へのレジリエンスを高める。
	民生公共 IoT データの応用 および産業展開計画	テクノロジーの発展	スマート微粒子センサー技術の研究開発プラットフォームを設立し、独自のセンサー研究開発リソースを構築する。複合型地震速報プラットフォームを活用し、地震速報データを学界・研究機関・産業界に提供して、地震速報サービスネットワークを構築する。あらゆる災害に対応可能な意思決定支援マッピングおよび山間部の局地的な土砂災害ホットスポットに対する 3D 警戒分析技術を開発する。産業界と協力し、防災サービスを提供する。パブリック IoT 専用の基幹ネットワークインフラサービスおよびパブリック IoT データ統合サービスを構築し、パブリック IoT 応用の実証フィールドの推進を完了する。
国家太空センター	基礎研究計画 — 国立宇宙センター	テクノロジーの発展	本計画は主にフォルモサット 5 号、7 号およびトリトン号などの人工衛星を継続的にコントロールし、リモートセンシング画像、GPS 掩蔽観測データ、科学データを提供することを目的とする。また、既存の国産衛星地上運用システムの開発リソースを活用して、光学、合成開口レーダー（SAR）、および低軌道通信衛星のミッション計画を支援し、さらに蓄積された技術的リソースを基に、産学研に対して包括的な宇宙技術とサービスを提供する。
	リモートセンシング衛星 コンステレーション計画	テクノロジーの発展	本計画では、先行型高解像度光学リモートセンシング衛星、実験型超高解像度リモートセンシング衛星、超高解像度スマートリモートセンシング衛星、および合成開口レーダー（SAR）衛星の開発を推進し、対地観測衛星システムを構築することを主な目的とする。また、衛星本体、ペイロード、関連コンポーネント、画像処理および応用などを含む、先進リモートセンシング衛星および地上システムに関する技術の独自開発を確立することで、台湾企業が国際的なリモートセンシング衛星のペイロードシステムや部品市場へ参入できるよう促進する。
	宇宙インフラ 工程および 応用研究能力 整備計画	テクノロジーの発展	本計画は、宇宙における重要技術の確立、先端技術の発展に必要な宇宙インフラ工程・応用研究施設の整備、そして衛星データの応用拡大を主要な目標としている。主な取組内容には、宇宙システムおよび部品の開発・技術進展、先端技術の研究開発、宇宙科学応用研究の推進、新興スタートアップによる衛星開発、軌道投入ロケットおよび国家射場の構築・運用などのプロジェクトが含まれる。これらの取組を通じて、国内の産学研究機関による放射線耐性電子部品の開発を促し、立方体衛星（キューブサット）開発チームの育成、ロケット開発技術の推進、そして国家発射場の設置・設備整備を図り、宇宙工学技術および宇宙活動発展に必要な完全な環境を構築することを目指す。
	宇宙産業推進 および人材育成計画	テクノロジーの発展	本計画では、リモートセンシングおよび通信ミッションに対応する先進的で汎用的な可搬型受信プラットフォームの構築を推進し、異なる周波数帯のニーズに対応できるようにする。また、国内外からの受注に対応するため、産業用光学ペイロードシステムの開発能力を推進し、大型展開式アンテナシステム、SAR ペイロード電子システム、リモートセンシング衛星の画像データを地上で高速受信する装置システムなど、産業チームの構築を進める。

	低軌道通信衛星計画	テクノロジーの発展	本計画は、高性能な低軌道通信実験衛星の開発を目的とし、台湾の光通信地上局と連携して光通信の重要部品を同時に開発することで、自主的な中核技術の構築を図る。また、低軌道衛星と静止軌道衛星を組み合わせた実験用衛星コンステレーションを整備し、軌道上における衛星から地上局への通信試験および検証を行う。
財団法人国家実験研究院	基礎科学研究計画－国家実験研究院	テクノロジーの発展	国内の研究者に世界トップレベルの研究プラットフォームを提供し、学術研究の成果を地域社会および産業の利益に転化することを目的として、本計画では国家実験研究院による総合的な研究開発拠点の構築を推進する。7つの実験研究機関に対して、包括的かつ体系的な大型研究開発プラットフォームおよびサービスを整備するとともに、各機関の中核的な能力、知識、技術、人材を統合し、国家レベルの実験設備の維持・運用を図る。また、学術界の川上における研究成果をスタートアップへと橋渡しする中間的な役割を担い、研究資源の統合・活用を通じて、研究成果の社会実装と産業化を促進する。
	半導体が牽引する産業イノベーション高度化計画一次世代高速コンピューティングホストおよびAI評価環境の整備	テクノロジーの発展	一、大規模な高速運算主機（コンピューティングホスト）およびクラウドサービスプラットフォームを構築し、生成AIモデルの包括的な開発環境を提供することで、多分野にわたるモデルの開発および応用の効率を向上させる。併せて、モデル評価メカニズムを構築し、我が国における大規模AIモデルの自主開発・応用能力を段階的に強化する。 二、我が国独自のAI認証・評価技術確立し、国内外の標準に準拠した認証を産業全体に普及させることで、国際水準への連携を最終目標とする。これに向け、認証機関および試験ラボを設立し、各応用分野におけるAI評価ツールの開発と実装を進める。
	半導体駆動－IC創新海外拠点による国際人材および先進プロセスIC設計人材育成計画	テクノロジーの発展	一、台湾半導体研究センターのIC設計サービス能力を強化し、台湾の学術界への支援を拡充する。具体的には、学術界向けに7nm先端チップの設計・製造サービスおよび次世代設計・演算の自営型クラウドサービスを提供する。 二、「産業拡張には人材が先行する」との理念に基づき、台湾初のIC設計訓練センターを設立する準備を進める。
	半導体駆動－全国半導体関連ハード・ソフトインフラ構築およびリソース共有計画	テクノロジーの発展	一、次世代の原子レベル技術検証ラインを構築し、先端トランジスタ技術、インメモリ計算、シリコンフォトリソ技術の開発と応用を推進する。これにより、学術界の優れた基礎研究成果を産業界の製造評価段階へと進める。 二、半導体アカデミーにおける基礎研究・教育・人材育成のための中核施設を整備・維持し、特色ある研究・教育・訓練環境を形成する。 三、将来の産業発展に対応する製造プロセスのサブシステムを自主開発し、応用製造装置の研究開発・設計に携わる人材を育成する。 四、国際水準の先進半導体チップ実験室を整備し、産業界に対して線幅・線間隔の狭い高密度接続を可能にする先進パッケージングプラットフォームを提供し、試作・少量生産を支援する。

	先端チップ設計・製造環境の構築	テクノロジーの発展	一、16/28nm以下の製造プロセスやAIチップなど、先端半導体チップの設計に対応するため、計算資源と設計ツールを統合した環境を構築する。 二、世界最先端のAI応用向け不揮発性メモリや化合物半導体などの技術開発に焦点を当て、高度な半導体ハードウェア訓練環境を整備する。
	次世代半導体基盤コア設備の整備	テクノロジーの発展	老朽化した設備の更新に継続的に注力し、先進性と柔軟性を兼ね備えた製造プロセス技術および高品質な設備利用環境を提供するため、半導体基盤となる中核設備の強化を今後も進めていく。
	台湾半導体産学研バリュー共創拠点の整備	公共建設	「チップ・イノベーション台湾計画」の推進にあわせ、国内における半導体産業の人材育成環境を強化するため、半導体産業の人材育成および産業発展に必要な条件を備えた産学研の場を新設する。また、「桃竹苗大シリコンバレー計画」に呼応し、テクノロジー回廊の産業エコシステムに参加する。12 インチ半導体製造研究施設を導入することで人材育成の能力を拡大し、国際人材の招致強化を図る。
	台湾杉 4 号ハイパフォーマンスコンピューティングプラットフォーム構築計画	テクノロジーの発展	我が国における大規模研究用計算資源の共用型高速運算環境を整備し、科学・工学の多分野にわたる大規模シミュレーションサービスを提供する。これにより、学術研究機関が先端的な基礎研究を推進できるよう支援し、台湾社会の生活イノベーションおよび経済発展の加速を図る。
	台湾高信頼性データクラウド分析プラットフォームの構築・推進計画	テクノロジーの発展	高度な情報セキュリティ、個人情報保護および権限管理機能を備えたクラウドプラットフォームを構築し、機密性の高いデータの開発・分析専用の基盤インフラおよびサービスを提供することで、科学研究の応用発展を促進する。
	チップ駆動による台湾産業イノベーション—台湾高信頼型 AI 大規模言語モデルの高度化およびリテラシー向上推進計画	テクノロジーの発展	台湾独自の文化的主体性により適合する大規模言語モデルの開発技術と対応能力を高度化し、繁体字中国語のコーパスおよびテキストを継続的に収集する。また、生成 AI に関する専門分野別オンライン問題集を推進し、生成 AI に対するリテラシー能力の向上を図る。さらに、産官学界を連携させ、生成 AI の模範的活用事例を発展させて実用化を推進し、台湾のデジタル転換における自主的な応用力を強化する。
	海底ケーブルおよび5Gクラウド接続センター整備計画	テクノロジーの発展	国家級クラウドデータセンターの整備を継続的に推進し、2025 年（民国 114 年）の竣工・稼働を予定している。本センターは、国内外の海底ケーブル、通信、ネットワーク、クラウド関連事業者に対し、デジタル集約サービスを提供し、国際海底ケーブルおよび国内光ファイバー網の主要接続拠点となることを目指す。併せて、台湾南北を結ぶ光ファイバーネットワークの整備を進め、運営体制の構築を推進することで、国家レベルのデジタルインフラの冗長性とサービス能力の強

			化を図る。
	洋上風力タービン構造のスマート防災監視プラットフォーム構築	テクノロジーの発展	洋上風力タービンの設計解析および実験技術を発展させ、有限要素ソフトウェアを用いて、ローカライズに対応した実寸大の洋上風力タービン構造モデルを構築する。タービンの計測ニーズに対応して、機器の性能と耐候性を向上させるとともに、洋上風力タービンのスマート防災および監視研究を推進する。また、海底地震観測のための観測ステーションを設置し、将来的な海底地震モニタリングに備える。洋上風力タービンの研究開発および試験プラットフォームを構築し、設備導入のニーズ確認や、計測機器および関連付属設備の調達を行う。さらに、海底の岩盤サンプルを採取するための掘削プラットフォームの構築を推進し、深海用浅掘り機の仕様策定およびシステム展開の実現可能性評価を行う。
	グリーンエネルギー設備試験研究所整備計画	公共建設	洋上風力発電構造物のスマート防災監視プラットフォーム向け新設試験設備に対応し、地下1階・地上4階建ての建物を新築する計画である。主な内容は以下の通り：風力発電機構造およびブレードの試験エリア（反力壁、強力床を含む）。地盤工学用遠心力試験エリア。実験用付帯設備（室内移動式クレーン、油圧動力装置および配管システム等）。研究室。 本計画の実施期間は3年間（2025～2027年、民国114～116年）であり、2025年度（114年）には建築・付帯施設工事、油圧動力および配管システムに関する入札・発注業務を行う予定である。
	台湾の高度光学および半導体自立に向けた精密光学システム研究開発拠点整備計画	テクノロジーの発展	先端学術研究、国防および半導体装置における精密光学部品のニーズに応えるため、国内の精密光学システム製造および検査技術を高度化することを目的とする（大口径精密光学部品の研磨システム、芯出しシステム、自由曲面の形状測定システムなどの整備を含む）。また、高度非球面光学部品およびシステムのプロトタイプに関する中核技術を確立し、精密光学システムの設計・製造に関する高度人材の育成を図ることで、国内の半導体、国防および宇宙産業における光学部品の自立能力を向上させる。
財団法人国家同步輻射研究中心（国家放射光研究センター）	基礎科学研究計画ーセンター業務推進および施設管理計画	テクノロジーの発展	国家放射光研究センターの光源施設の安定運転を維持し、加速器およびビームライン実験施設の性能・効率・安定性の最適化を図る。また、実験技術と手法を拡充し、高品質な光源施設プラットフォームのサービス能力を有効活用することで、利用者による先端的な基礎および先見的な学際的科学研究を支援し、先進的な放射光施設の最大効果を発揮させる。
	台湾光子源ビームライン実験施設整備計画ー第三期	テクノロジーの発展	台湾光子源を中核とし、第三段階のビームライン実験施設の整備とアップグレードを実施することで、我が国の放射光実験技術ネットワークを充実させる。これにより、吸収スペクトル、小角散乱、生体構造、軟X線分光などの分野における利用者の実験ニーズに応え、最先端の研究課題への挑戦を支援し、産学研における研究開発力の拡充を図る。
	SPring-8 台湾ビームライン高度化計画	テクノロジーの発展	日本のSPring-8が持つ高エネルギーX線源の特性を活用し、日本のSPring-8内に設置された台湾専用ビームラインを高度化する。本計画では、X線回折、X線顕微鏡技術、高エネルギーコヒーレントX線イメージング、X線ラマン散乱など、多様な実験技術に対応する実験ステーションを整備し、高エネルギーX線分

			光および散乱実験における我が国の利用者のニーズを補完する。
	半導体物理の 限界を突破し AI時代と連携 する計画	テクノロジーの 発展	国家実験室である国研院儀科中心および国家同步輻射研究中心、ならびに学術研究界が有する高解像度の実験能力を統合し、将来の半導体産業のニーズに照準を定め、クラスター型 in situ 検査装置、原子スケール針尖トモグラフィー測定プラットフォーム、先端エネルギー分光測定プラットフォーム、2次元薄膜回折実験施設などを開発することで、台湾の半導体技術力と国際競争力の向上を図る。